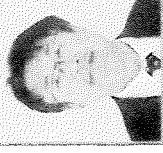


## ご挨拶

### 見えない壁！

校長 高岡 昌司



約40年以上前の話です。私は小学生の時、水泳がとても苦手でした。25メートルを泳いだのは小学校6年生の時がはじめてでした。5年生まで水泳授業では、何度泳いでも20メートルの手前で立ち止まってしまうことを繰り返していました。きちんと息継ぎができていないから息が続く限界なのでしょう。まさに、20メートルの「見えない壁」が立ちだかっっていました。先生から「おしい。あと少しなのに…」と励まされながらもその壁はなかなかこえられませんでした。

そんな中、ついに壁をこえる時がきました。その日の水泳は、急遽5・6年合同の授業となりました。とてもドキドキしました。実は、5年生の中に好きな女の子がいたか

らでした。自分の心の中の声で（あの子の前でみつともない姿はみせられない）と、そう思うと体がこわばりました。いよいよ自分の番になりました。5年生のその子がちよつと20メートルあたりのプールサイドに座って見ていました。心臓はバクバクです。無常にも用意・ピーの合図。私はがむしゃらに泳ぎました。とにかく、息の続く限りめいっぱい水をかき前へと進みました。ほぼ自分がどの辺りを泳いでいるかわからない状態でした。

次の瞬間、「バシッ、痛！」気がつくくと、手がゴールに当たっていました。「えっ、やったあ。25メートル泳げた」と心の中で叫びました。嬉しさが体の中から湧き上がってきました。でも、

好きなあの子の前です。プールから出る時は平静を装いました。その日以来、25メートル泳ぐことは当たり前になりました。それどころか、50メートル、100メートルと記録はどんどん伸びていきました。子どもの頃の淡い思い出です。

「見えない壁」をこえる瞬間は、いつどこでどのような形であられるのかわかりません。この場合は、好きな子の前で格好悪い姿を見せられないという、ある意味追い込まれた状態でしたが…。

壁をこえることができたのは、好きな子の存在もありますが、その日まで、何事も悔しい思いをしながらも練習を繰り返し続けてきたことで、この瞬間に息継ぎのタイミングやコツをつかんだのだと思われま

す。何でもがんばればやっただけの成果や結果が出るとは限りません。ある一定の段階までくるとこのような「見えない壁」にぶつかります。しか

変化が激しく様々な状況が目まぐるしく変わる時代において、社会の雰囲気や流れに流されてできないことがないよう、思いつきりできる環境をつくってあげたいという思いは私たち保護者の共通の願いではないかと考えております。

また、チーム担任制が始まり、担任の先生以外との関わり合いが増え、先生方や子どもたち同士の信頼関係が厚くなることでまとまりのある学校になります。高野小学校からの情報発信

高野小学校からの情報発信

しながら、そこで決して、あきらめずに続けることで体の中にエネルギーがたまっているのです。それが、ある時、ふつとはじけ、「見えない壁」をこえる瞬間がきます。（見えないだけに、突然な気がしますが…）

見える部分での成長が、停滞している時こそ、教師や親に「見えない部分」の過程にどれだけ価値や意識をもたせることができるのか、そこが重要ではないかと思

います。現在、脳科学の進歩で、目に見えない時にも確実に成長している脳の働きが解明されています。決してあきらめず、信じて、努力を「続けること」の大切さを伝えたいものです。

高野小学校の皆さん、「見えない壁」に負けず、信じたことを挑戦し続けて欲しいと思

います。を拝見し、がんばっている姿を見ると子どもたちの成長が感じられ、先生方におかれましては毎日笑顔で楽しく学校生活を過ごせるように今後も引き続きお力添えをいただきましたら幸いです。

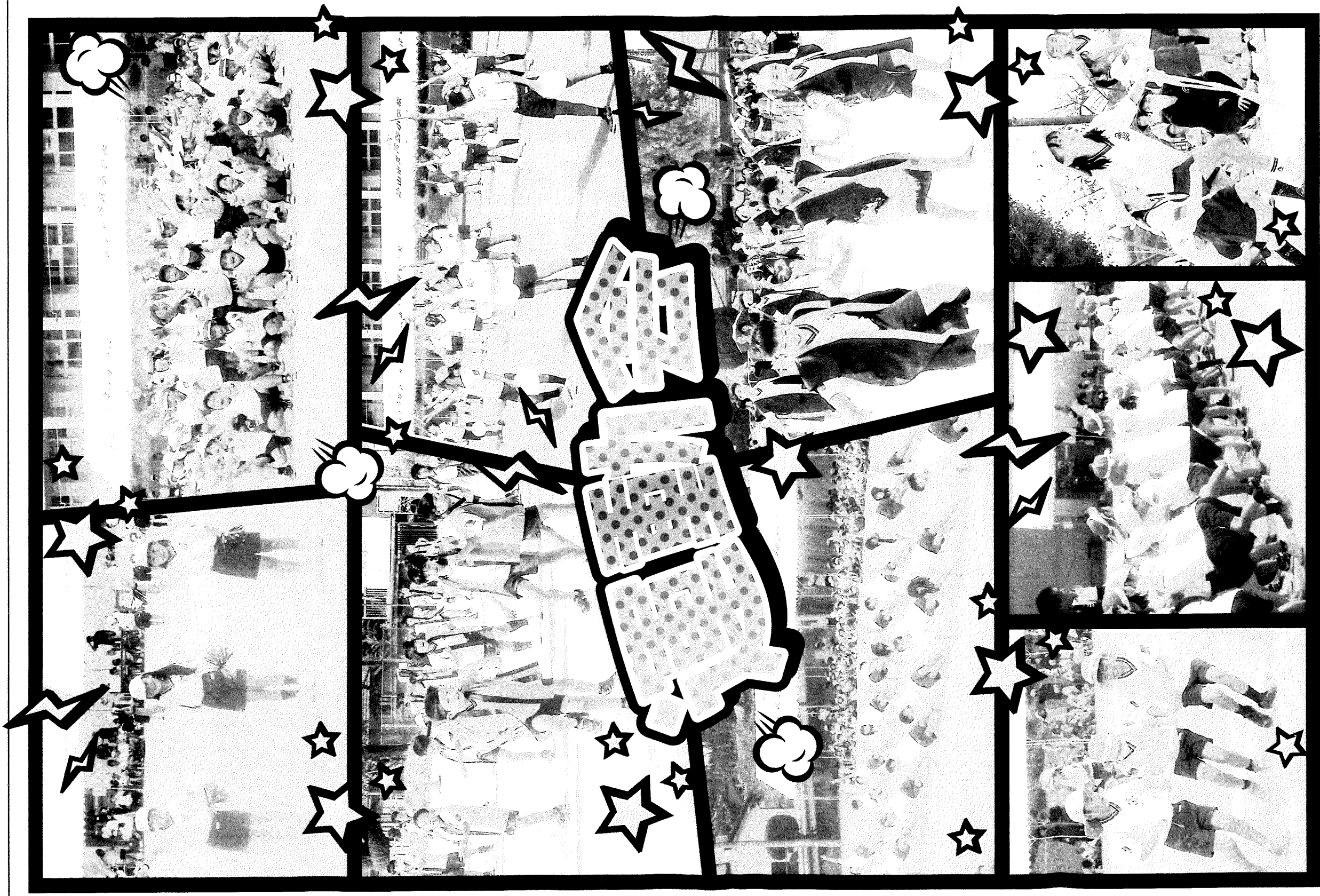
最後になりますが、令和7年度も引き続きPTA会長の役を務めさせていただきます。保護者の皆様・地域の皆様・PTA役員の皆様方に支えていただき、微力ではありますが子どもたちの健全な成長に寄与できるように務めて参ります。

# 支援米 贈呈式

田んほの中でころびそうになったり、手足がかゆくなったりしたけど、おいしいお米を作るためにがんばりました。マリ共和国の人にとたくさん食べてもらって、元気になってほしいです。



今年の  
米 収穫量  
320kg





# 学習発表会

## 楽しんだ学習発表会

「それでは、お願いします。」  
 といつ、先生の合図でみもりちゃんが  
 「立上ろ。」  
 と、ごつれいをかけた。その合図でみんなが  
 「はい。」  
 とくんじ。私のセリフの順番がきた。そのしゅんかん、おね  
 がドキッとなった。  
 「今日はかがやく4年生の発表をしようぞうさんぐだわい。」  
 と、まじく大きな声でた。去年はぜんぜんでなくて、  
 「今年はでるかあ。」  
 と不安だった。まじくうれしかった。そこから、クイズや、  
 グッズをあげたり、たくさんいろいろなことをした。  
 発表が終わって、会場が大きなほく手につつまれた。私は  
 やりきれてうれしかった。心のなかで、  
 「やったあ、やったあ。」  
 と言った。  
 その後、教室にもどり、先生に  
 「作文とふりかえりを書けよ。」  
 と、言われたときに、ガーンとなった。  
 「いや、いや、いや、ぜったいや。」  
 と、思った。でも、苦手をふりかえりもスラスラ書けた。  
 「なんでだろ。」  
 と、つい言ってしまった。私はたくさんがんばれば、ふりか  
 えりや作文もスラスラ書けるんだ、と思った。  
 だから、運動会や学習発表会などの行事は楽しめるだけ  
 じゃなく、こつこつこつに考える力もはたらかせてくれるん  
 だと思った。  
 今年の学習発表会は立ちすがた、まつたいど、大きな声を  
 がんばった。なぜなら、しせいやたいどが悪いと、見る人も  
 いやな思いをするのではないかなと、思ったから。いろいろ  
 なことをがんばった発表会になった。  
 来年の学習発表会が楽しみ。



# 修学旅行

平和記念公園では、戦争の悲惨さに気付かされました。  
 自分で作ったおみじ饅頭は、とてもおいしかったです。  
 鳥居がライトアップされていて、思い出に残りました。  
 ホテルでは友だちとたくさん話をして盛り上がりまして楽し  
 かったです。  
 水族館でくじをいっぱい引いて、友だちはかわうそのめ  
 いぐるみを当てました。  
 小学校最後の大切な思い出が残りました。

